

第 93 回道展第 63 回釧路移動展開催報告

報告者 釧路移動展実行委員会事務局長 高橋 潤

平成 30 年 11 月 20 日(火)から 25 日(日)まで、釧路市生涯学習センター3階の釧路市立美術館で開催された釧路移動展には、1,000 名を超える入場者数があり、盛会のうちに終了することができました。

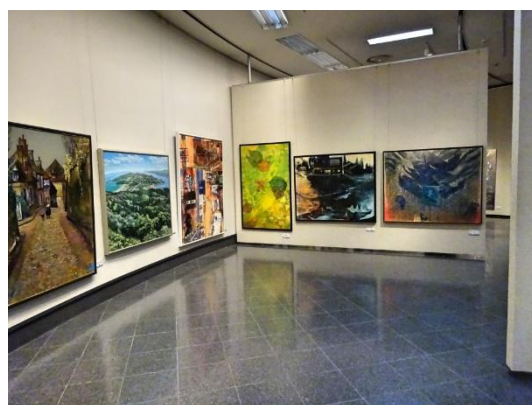
昨年から作品講評会を釧根地区からの出品者向けと一般市民対象に分け内容を変えて実施しています。24 日(土)の午後、澤田範明(油彩)会員と福原幸喜(油彩)会員を講師に迎えて行った出品者向けの講評会では、それぞれの課題や成果についてじっくり時間をかけてアドバイスを受けました。終了後は、早くも次回の道展に向け、制作意欲を高めていました。

25 日(日)の午前中に開催した一般市民向けの作品講評会では、協会賞受賞作品をはじめ、今回の道展の特徴的な作品を制作の裏話などを交えた解説に、多くの参加者が耳を傾けていました。

今回の道展では、釧根地区から日本画で中居凜晟さんが新人賞、油彩で島田勝利さんが佳作賞を受賞しました。また、油彩の齋藤和子さんと版画の外川篤司さんが会友に推挙されるなど、大きな成果をあげました。更に油彩の鈴木秋弘さんは、初出品で初入選し話題となりました。ここ数年、釧根地区からの出品者は、受賞や会友推挙が続いており、今後の活躍にますます期待がかかっています



講評会のようす (澤田会員、福原会員ありがとうございます)



入り口展示は、地元作家島田さん(油彩佳作賞)作品。



協会賞の花輪氏は釧路で教鞭を執っていたゆかりの作家さん。おめでとうございます！



日本画新人賞を受賞した地元作家中居氏の作品(中央)。

